



<利用者の支援について>

生活のすべての場面で、自分で出来ることは自分で行う。出来ないことは職員と一緒に取り組む。

→職員は「どうしたら一人で出来るようになるかを本人と一緒に考え、思考錯誤しながら、将来利用者が困らないように、自分の思い描く生活が可能になるように支援している。

<利用者の今後の方向性>

現在のGHでの生活は、今後の一人暮らしや自分の望む生活への準備期間として考えている。担当職員、サビ管、相談支援専門員等も含めて今後の生活について定期的に話し合いを行っている。

<意見交換>

日中活動について

A型作業所とB型作業所は何が違うのか

→A型作業所（雇用関係あり、最低賃金保障）

B型作業所（雇用関係なし、作業成果は工賃として支払い有）

4 今後について

会議（年1回）

施設訪問→そのままGHへ移動

※構成員1名は別日に事業所訪問を行っていただいた。

<訪問についての感想等>

・実際に施設内入り、説明を受けたことで、生活の様子が良く分かった。

・アパートタイプの居室なので、一人暮らしを見据えた生活が可能になっていると感じた。

・食事についての説明（手作りで提供、一人一人の好き嫌いを把握して苦手な食材や料理は提供せず、食材を外したり別メニューに変える対応をしている）を聞き、個別に細かい配慮をされていることに感銘を受けた。